

現地レポート／河野 美恵子(先導科学研究科、生命共生体進化学専攻)

派遣先：アメリカ合衆国

派遣先機関名：Rutgers, The state university of New Jersey

派遣期間：2013年1月7日～2013年3月16日

2013年2月9日報告分

授業・研究の進捗状況

Rutgers大学のDepartment of Plant Biology and Pathologyに籍を置くDr. Ning Zhangの研究室を訪問している。Dr. Zhangの専門は菌類の生理・進化であり、地衣類の研究者とも共同研究を行っている。滞在中は、日本で行った実験のデータ解析を学びつつ、菌類の専門家であるDr. Zhangから地衣類の共生菌の生理活動と遺伝子発現の関係についてもアドバイスを受ける。解析方法についての具体的な指導はDr. Zhangの共同研究者であるDr. Caiに受けている。現在は研究室内のミーティングでの発表を終え、そこで受けたアドバイスをもとに新たな方法でのデータ解析を試みている。

生活関連状況

幸いRutgers大学で教鞭をとる日本人の教授のご自宅にホームステイさせて頂くことができ、何不自由ない生活を送っている。アメリカ滞在にあたって周囲に最も心配(?)されたのが食生活であるが、日本人宅でのホームステイのため、毎日美味しい日本食を頂いている。また、Rutgers大学のあるNew Jersey州 New Brunswickはニューヨーク市まで電車で約一時間の距離にあり、休日は観光に行くなどしながら過ごしている。

その他報告すべき事項

今回の派遣ではとにかくビザについて苦労した。同じ専攻からの海外派遣学生の前例に倣い、私も渡米に際してはビザ免除プログラムを利用するつもりであったが、12月も末になり突然Rutgers大学の事務からビザを取得するようにとの連絡を受けた。出発予定日から一ヶ月をきっての突然の事態に一時は渡航のキャンセルも真剣に考えた。最終的には「観光もする」という条件付きでビザ免除プログラムを利用しての訪問を認めてもらえたが、「研究が目的であっても3ヶ月以内であればビザ免除プログラムが利用できる」という明文化された根拠がなかったため交渉が難航した。私一人の力では到底乗り越えることができなかった。年末年始にも関わらず支えてくださった指導教員の颯田先生、先導研の皆様に変な感謝している。